

令和5年6月30日
住宅局住宅生産課住宅性能評価書（設計）を交付した住宅の割合は7年連続増加
～令和4年度の住宅性能表示制度の実施状況について～

令和4年度における住宅性能表示制度の実績をとりまとめましたので、お知らせいたします。

【ポイント】

○新設住宅着工戸数に対する設計住宅性能評価書の交付割合は、30.8%となり、7年連続の増加。

1. 住宅性能表示制度の概要

住宅の性能について、国が定める共通のルールに基づき、登録住宅性能評価機関が評価し、その性能を表示する制度です。

住宅性能評価書には、

① 設計図書の段階の評価結果をまとめた「設計住宅性能評価書」

② 施工段階と完成段階の検査を経た評価結果をまとめた「建設住宅性能評価書」があります。

※②の建設住宅性能評価書には、既存住宅を対象とするものもあります。

2. 令和4年度実績

○評価書交付割合

【設計】 30.8%（新設住宅着工戸数：860,828戸）

○評価書交付実績

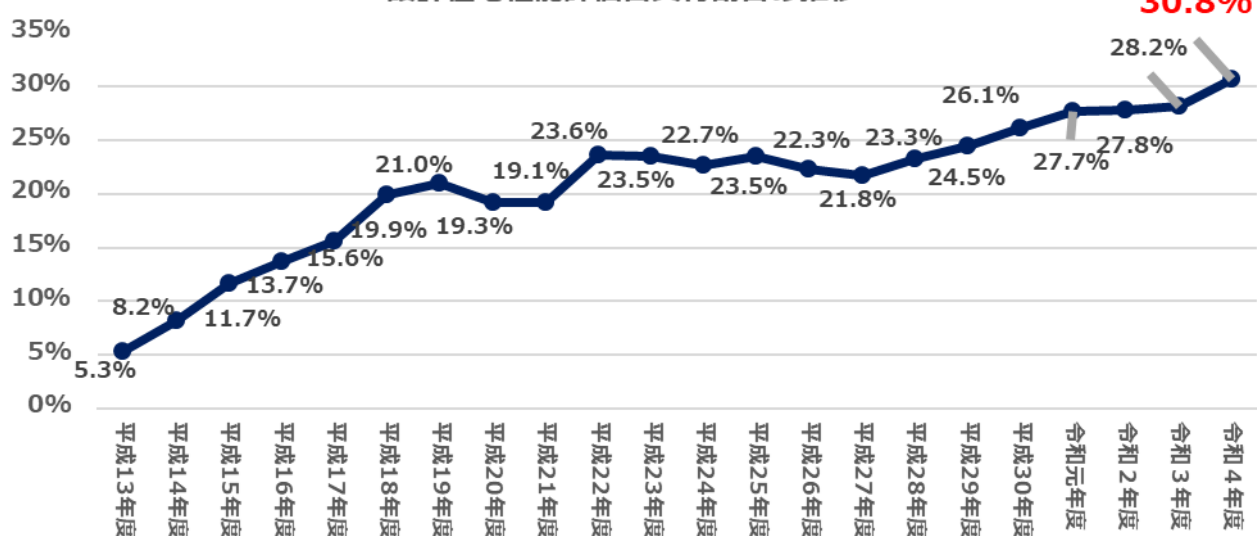
【設計】 264,790戸（対前年比：8.5%増）

【建設（新築）】 192,903戸（対前年比：3.5%増）

【建設（既存）】 215戸（対前年比：49.8%減）

（詳細は別添1～4及び参考資料をご参照下さい。）

設計住宅性能評価書交付割合の推移



（参考）制度実施以降の実施状況については、以下URLよりご参照ください。

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページ <https://www.hyoukakyokai.or.jp/>

<問い合わせ先>

国土交通省住宅局住宅生産課 松田、猪澤 電話（代表）03-5253-8111（内線39-456, 39-433）